|  |
| --- |
| **2018年漁業センサス調査結果の概要【速報】**大阪府総務部統計課 産業構造グループ《 詳しくは大阪府ホームページに掲載しています。<http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/gyogyou_s/index.html>》 |

トピックス

平成30年11月1日現在で実施した2018年漁業センサスの海面漁業調査に係る漁業経営体調査の大阪府の主な集計結果は次のとおりでした。

※「漁業経営体」「漁業種類」「漁業就業者」などの用語の意義については、大阪府ホームページを参照してください。

**１　漁業経営体数**

1. 漁業経営体数（府全体）

大阪府の漁業経営体数は519経営体で、平成25年調査(以下「前回」という。）に比べ70経営体(11.9％)減少しました。全国の漁業経営体数は79,142経営体で、前回に比べ15,365経営体(16.3％)減少しました。(表１)

**表１　漁業経営体数の推移**

****

1. 漁業経営体数（市町別）

漁業経営体数を市町別にみると、岬町が97経営体で最も多く、次いで堺市の77経営体、阪南市の72経営体の順となっています。また、この順位は前回と変わりません。(表２及び図１)

|  |  |
| --- | --- |
| **表２　市町別漁業経営体数** | **図１　市町別漁業経営体の構成比** |
|  |  |

1. 販売金額第１位の漁業種類別漁業経営体数

漁業経営体数を販売金額第１位の漁業種類別にみると、「その他の刺網」が171経営体（構成比32.9％）で最も多く、次いで「小型底びき網」の131経営体（構成比25.2％）、「その他の漁業」の105経営体（構成比20.2％）の順となっており、この３種類で全体の約８割を占めています。

前回と比べると、「中・小型まき網」を販売金額第１位とする経営体がなくなったものの、全体の構成比に大きな変化はありませんでした。(表３)

**表３　販売金額第１位の漁業種類別経営体数**



※表中の漁業種類には、二つの調査年について経営体数の数値が得られた漁業種類のみを掲載している。

**２　漁業就業者数**

漁業就業者数は870人となっています。

年齢階層別の構成比について全国と比べると、59歳以下の４つの階層で大阪府が全国よりも高く、60歳以上の２つの階層で全国よりも低くなっています。（表４）

**表４　年齢階層別漁業就業者数**

